

アカウント（ユーザ名とパスワード）

アカウントについて

本学のICT環境を利用するにはアカウントが必要になります。アカウントとは、利用者1人ひとりを区別するためのユーザ名と、そのユーザ名を使おうとしている人が本当にその本人かどうかを確認するためのパスワードです。したがって、正当なアカウント所有者であることを証明するために、自分のユーザ名とパスワードを所定の画面で入力するところから利用が始まります。



大学共通アカウントを必要とするICT環境

- (1) 大学共通コンピュータ演習室
- (2) Blackboard@Tamagawa（大学e-Educationシステム）
- (3) 学生Webメールシステム
- (4) MyPCネットワーク（持参ノートパソコンの学内LAN接続）
- (5) 図書館利用状況の照会

アカウントに対する責任と義務、管理

ユーザ名とパスワードで認証を経てICT環境を利用した場合、そこでの操作には、そのアカウントの所有者に責任が伴ってきます。したがって、自分のユーザ名とパスワードを他人に知られると自分の責任で他人にICT環境を使用されてしまうことが起こります。

もし、そのような状況で下記のような事態が発生すると、それらに伴う多大な責任を負わなければならないこととなります。したがって、パスワードは絶対に他の人に知られないように管理しなければなりません。パスワードのメモを落としたり、安易に友人に教えると、後で取り返しのつかない事態になります。



パスワードの悪用で起こりうること

パスワードを他人に知られてしまうと、あなたになりすまして……

- (1) 企業や政府機関などに不正行為を働かれ、相手に被害・損害を与える行為をされてしまう。
- (2) プライバシー侵害や名誉毀損、犯罪的な情報をメールやネット掲示板などに書き込みされてしまう。
等等

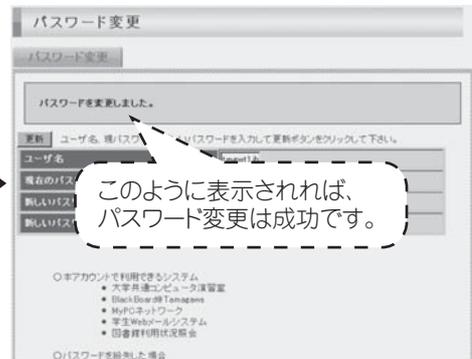
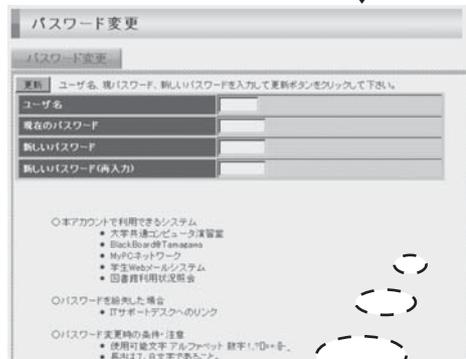
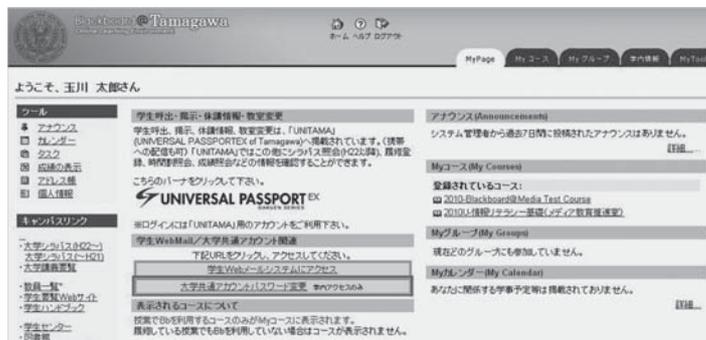
パスワードの変更

自分のパスワードを定期的に変更することは、パスワードを他人に知られないようにする予防策として有効です。パスワードの変更はWWWブラウザを使用し、下記手順で行ってください。

まず、自分のユーザ名とパスワードでBlackboard@Tamagawaを開き、キャンパスリンクにある『大学共通アカウントのパスワード変更』をクリックします。するとパスワード変更画面が開きます。なお、パスワード変更画面は学内のネットワークにつながったパソコンからしか開きません。

次に、パスワード変更画面において、自分のユーザ名と現在使っているパスワード、そして、新しいパスワードを入力し「更新」ボタンをクリックします。

■パスワード変更手順



このように表示されれば、パスワード変更は成功です。



■望ましいパスワードの作り方と例

パスワードは半角の英数記号文字で登録します。アルファベットの`大文字`と`小文字`は別の文字として解釈されますので（`Abc`と`abc`は別）注意してください。また、単純なもの（`aaaaaa`や`12345678`など）を設定することは避けましょう。他人にたやすく推測できるようなもの（自分のローマ字名など）にせず、自分だけが覚えていられるようなパスワードを考えてください。

- (1) 8文字でアルファベット大文字小文字、数字を混ぜる。
- (2) 名前や電話番号等、身の回りの情報だけで構成しない。
- (3) 例1：歌や詩の頭文字（子音）を使用する。
“空高く野路ははるけし”は“SrtkkNzh”、“く”を“9”に語呂を合せ“Srtk9Nzh”。
- (4) 例2：2つの短い単語を特殊文字で連結。
“cat”と“dog”で“Ca10;do9”。“9”は“g”の類似文字。



パスワードを他人に知られないようにするためには……

- (1) 初期アカウントのパスワードは速やかに変更し、定期的に変更すること。
- (2) パスワードはメモらない。メモの置き忘れは大変危険です。
- (3) 簡単・単純なパスワードにしない。
推測やキー入力をみられるだけでわかってしまいます。

アカウントの入手および再交付手続き

初めてアカウントを取得するときは、入学後のアカウントガイダンスを受講して引換券を入手します。そして、指定場所において、この引換券の提出と学生証の提示によって「アカウント票」という紙で受け取ります。

アカウント取得の後で自分のパスワードを失念した場合は、再発行の手続きが必要です。本学コンピュータシステムのアカウント再交付に関する取り決めに従い、授業運営課カウンターの証明書自動発行機で「アカウント再交付手数料（1,000円）」を入手し、アカウント再発行ガイダンスを受講してください。

アカウント票の再発行は、ガイダンス受講から2日後（土曜・日曜・大学の定める休日を除く）以降になります。

ガイダンスは平常授業期間中の毎週2回と履修登録指定日の数日前に実施しています。詳しい日程はITサポートデスクにお問い合わせください。

アカウントの失効

本学の在籍がなくなった時点で、アカウントは抹消されます。

アカウントに関する法律

パスワードを他人に知られると、自分のアカウントを利用されてしまうことになります。逆に、他人のパスワードがわかれば、その人のアカウントが使用可能になります。しかし、「正規手段で取得したアカウント」以外のアカウントを使う、もしくは使用を試みることは「不正アクセス行為の禁止等に関する法律」で罰せられる犯罪です。アカウントとは、非常に大切なものですから、安易に他人に教えたり、類推しやすいパスワードにしたりすることのないように、しっかりと個人で管理してください。

本学でのアカウントの取り扱い対応

本学では、安全なIT利用環境維持のために、アカウントの取り扱いを厳しく行っています。以下の注意事項を念頭において、正しく利用してください。

- (1) 他人のアカウントを不正に使用したり、アカウントを他人に使わせたりした場合には、双方においてアカウントの停止や、学則に則った処分の対象になります。
- (2) IT環境を使用した授業を履修する場合は、あらかじめアカウントが使えるか確認してください。授業開始直前や授業中のパスワードに関する問い合わせには応じられません。
- (3) パスワードの失念やアカウント不正利用による停止に伴い、「授業が受講できない」「レポート提出できない」「試験が受けられない」などの事態が発生しても、自己責任に基づくものとして対応しません。
- (4) アカウント票用紙の発行以外の手段でパスワードを発行・提示することは一切ありません。
- (5) アカウント票用紙や、本学のIT環境を使用するためのアカウントであると明らかに判断できるメモをサポートデスクで拾得した場合は、アカウントの有効性を確認します。もし、そのパスワードが有効だった場合はアカウントを一時停止します。



自分のパスワードを他人に知られてしまった可能性がある場合は……

- (1) 即刻パスワードを変更してください。
- (2) パスワードが変更できない場合は、即刻ITサポートデスクに連絡してください。

今まで使えていたパスワードが突然使えなくなった場合は……

- パスワードを知られて、誰かにパスワードを変更されてしまった可能性もあります。ITサポートデスクまでパスワード最終変更日を問い合わせてください。

他の人のアカウント票用紙や、アカウントらしきメモを拾った場合は……

- ITサポートデスクに届けてください。